

い  
ず  
み  
さ  
の  
教  
育



問合先  
学校教育課

泉佐野市教育フォーラム

教育委員会では、「授業・保育づくり」や「人間関係づくり」の取組や成果などを発表する場として、また、保護者や市民の人たちと教職員がともに研修できる場として「教育フォーラム」を、泉佐野市PTA連絡協議会と協働して毎年開催しており、今年度は第11回となります。

前半の部では、夏季休業中に実施しました中学生による国際交流（モンゴル国訪問）についての報告を行います。現地でのホームステイなど、様々な経験の中での、子どもたちの豊かな感性と成長を垣間見ることが出来ます。また、泉佐野市学力向上プロジェクトチームからは、「いずみさの教育文化運動」の10年間を振り返り、発足の経緯や「授業・保育づくり研究グループ」などの具体的な取組、果たしてきた役割などについて報告を行います。

後半の部では、泉佐野市スポーツ大使の大山加奈さんにご講演いただきます。大山さんは、オリンピックや世界選手権にも出場され、日本を代表

するバレーボールプレーヤーとして活躍されました。その経験や、バレーボール教室の開催など、スポーツの普及・発展に尽力されている現在の活動などを交え、バレーボールから得たこと、スポーツを通じて子どもたちに伝えたいこと、子どもたちをサポートする大人へのアドバイスなどについて、お話しいただく予定です。

教職員として、保護者として、地域の人としてなど、立ち位置は違えども、子どもたちに関わる全ての大人が、明日から子どもたちのためにできることは何か。たくさんの方の元気とヒントをいただきながら、いっしょに考えてみませんか。みなさんお誘いあわせの上ご参加ください。なお、当日は手話通訳があります。一時保育（無料）については、事前の予約が必要ですので、学校教育課に問い合わせてください。

令和元年度（第11回）  
泉佐野市教育フォーラム  
日時 12月24日（火）午後2時～  
場所 エブノ泉の森小ホール

学校園紹介



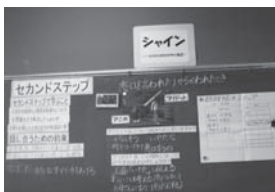
セカンドステップ  
～北中小学校～

【暴力以外の問題解決】

セカンドステップは、北中小学校が特に大切にしている取組のひとつです。暴力以外の方法で、問題を解決するための教育プログラムとしてアメリカで開発されました。全学年で取り組んでいて、6年間勉強することになります。

【何を学ぶのか】

セカンドステップでは、①自分の気持ちと相手の気持ちについて②問題をどのように解決したらよいか③いかりをかんじたときどうすればよいか、この3点を学んでいきます。



1年生のセカンドステップの授業では、教材を使って「フェアとは何か」を考えました。ペアで話し合ってから全体で意見を出し合い、問題を解決する方法を見つけていきました。授業の後半は、グループごとに折り紙が配られ、みんながフェアに折り紙をもらうにはどうすればよいか、授業の前半で学んだことを生かしながら、枚数や色を相談し合っていました。

【落ち着いた学習環境】

セカンドステップは、自分自身を落ち着ける方法をみつけたり、落ち着いた学習環境をつくったりするのに欠かせないものになっています。「継続は力なり」と言われるように、学校全体が落ち着いて毎日の学校生活を送れるようになっていく大きな要因として捉えており、今後も取組を続けようと考えています。

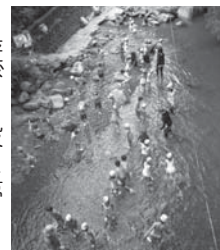


心はずむ体験や人とのつながりを通してともに育ち合う  
～はるかこども園～

はるかこども園では、“おもしろそう・やってみよう！”と自ら積極的にかかわることができる活動を大切にしながら、先生や友だち、たくさんの方とのつながりの中で楽しめるように様々な取組をしています。その中の一部を紹介します。

【川あそび】

5歳児が夏に大木地区の川へ遊びに行きます。園でのプール遊びとは違い、大自然に囲まれた川で、水の冷たさや生き物に触れ、普段は経験できない活動に、友だちと手を取り合い、声を出し合い、夢中になって遊んでいます。



【食育活動】

栄養士の食育指導や、菜園活動で育てた野菜をクッキングの食材に使用するなど、食への興味や関心につながるような活動に取り組んでいます。実際に給食で食べる旬の食材（筍・そら豆など）は、子どもたちが皮むきをして調理室へ届けます。

調理される前の食材に触れることで新たな発見があり、食べる意欲にもつながっています。

【絵本のとりくみ】

絵本に親しみ、想像力やことばの力を大切に育てています。毎週末、絵本貸出があり、選んだ絵本を持ち帰り、保護者に読んでもらうことが、子どもたちの週末の楽しみになっています。



今年度は「おはなしの会ルピナス」による、読み聞かせも実施していただきました。いつも先生や保護者に読んでもらうのとは違い、吸い込まれるように絵本の世界に浸っていた子どもたちです。